

# プログラム

## 講演会場

開会式

9:50～10:00

開会の辞、大会長挨拶：清水俊夫（東京都立神経病院 副院長）

会長講演

10:00～10:20

座長：巨島文子（諏訪赤十字病院 リハビリテーション科）

CL 疾患修飾治療としての栄養療法を目指して  
清水俊夫（東京都立神経病院 副院長）

特別講演

10:25～11:15

座長：清水俊夫（東京都立神経病院 副院長）

SL 胃瘻の適応を再び考える  
丸山道生（田無病院 院長）

教育講演 1

11:20～12:10

座長：下畠享良（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野 教授）

EL1 多職種で極めよう！パーキンソン病進行期の診療  
高橋一司（東京都立神経病院 院長）

共催：協和キリン株式会社

ランチョンセミナー

12:25～13:15

座長：清水俊夫（東京都立神経病院 副院長）

LS 重症筋無力症の摂食・嚥下障害  
今井富裕（国立病院機構箱根病院 院長）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

副会長企画

13:25~14:10

座長：松田千春（公財）東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット）

摂食・嚥下障害看護認定看護師の知と技をつなぐ

VP-1 病棟における摂食・嚥下障害看護認定看護師がつなぐ輪

小倉宣世（国立精神・神経医療研究センター病院 看護部/  
摂食・嚥下障害看護認定看護師）

VP-2 神経筋難病専門病院の食支援をつなぐ

村上未来（東京都立神経病院 看護部/摂食・嚥下障害看護認定看護師）

VP-3 在宅における神経難病の方への食支援の関わり

青木奈々（桜新町アーバンクリニック在宅医療部 ナースケア・ステーション/  
摂食・嚥下障害看護認定看護師）

VP-4 「神経難病と食」に向き合うために

臼井晴美（国立精神・神経医療研究センター病院 看護部/  
摂食・嚥下障害看護認定看護師）

教育講演 2

14:15~15:05

座長：野崎園子（わかくさ竜間リハビリテーション病院）

EL2 神経難病における嚥下障害

阿部康二（国立精神・神経医療研究センター病院 院長）

共催：田辺三菱製薬株式会社

優秀演題

16:10~16:50

座長：平野牧人（近畿大学 脳神経内科）

症例報告

AC1 神経筋疾患患者の胃瘻造設における協働意思決定と後悔に関する研究

—胃瘻造設時に葛藤が高かった4例について—

花井亜紀子（国立精神・神経医療研究センター病院看護部/医療連携福祉相談部）

研究報告

AR1 大学病院における内服時のとろみ剤の使用実態と服薬ゼリーの認知について

磯野千春（近畿大学病院リハビリテーション部）

AR2 パーキンソン病患者における嚥下機能障害の機序～嚥下造影検査による検討

富田 聰（国立病院機構宇多野病院 臨床研究部/脳神経内科）

AR3 筋萎縮性側索硬化症における体重減少と病理学的な病変拡大の関連  
林健太郎（東京都立神経病院 脳神経内科）

シンポジウム

16:55～18:20

座長：福本 裕（国立精神・神経医療研究センター病院 総合外科部歯科）  
林健太郎（東京都立神経病院 脳神経内科）

多職種による嚥下・栄養サポート連携～食支援における食事や栄養食品の工夫～

SY-1 神経難病患者の食支援における地域連携と多職種連携  
菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長）

SY-2 在宅で「口から食べる」ための食支援～訪問栄養指導の実践～  
江頭文江（地域栄養ケア PEACH 厚木）

SY-3 神経難病患者への多職種チームによる摂食嚥下・栄養サポート  
～病院から地域へ、地域から病院へ～  
木田耕太（東京都立神経病院 脳神経内科/栄養サポートチーム/  
ALS/MND センター）

SY-4 美味しく安全に食べ続けるための包括的食支援  
竹市美加（訪問看護ステーションたべる/口から食べる幸せを守る会 副理事長）

共催：テルモ株式会社

閉会式

18:20～18:40

閉会の辞：臼井晴美（国立精神・神経医療研究センター病院 看護部）

次期大会長挨拶：梅本丈二（福岡大学病院 歯科口腔外科 摂食嚥下センター長）

## ポスター会場

一般演題（ポスター発表）

15:15～15:55

### 研究報告

- P-1 筋萎縮性側索硬化症の食事摂取量評価における標準体重あたりのカロリー摂取量の有用性  
中村竜太郎（滋賀医科大学附属病院脳神経内科）
- P-2 パーキンソン症候群患者の嚥下障害の自覚と嚥下に関する QOL  
中山慧悟（国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部）
- P-3 筋萎縮性側索硬化症における血液学的栄養指標の推移  
中山優季（公財）東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット）
- P-4 気管切開下人工呼吸療法を実施する筋萎縮性側索硬化症患者の腹部合併症  
松田千春（公財）東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット）
- P-5 パーキンソン病における経皮内視鏡的胃瘻造設術と生命予後の検討  
浅野友梨（東京都立神経病院 脳神経内科）
- P-6 外来通院期の筋萎縮性側索硬化症患者の球麻痺症状と関連した機能障害、  
臨床経過との関連  
原口道子（公財）東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット/  
東京都立神経病院 ALS/MND センター）
- P-7 抗 NMDA 受容体脳炎患者の絶食から経口摂取再開に至る経過  
井手 拓（福岡大学病院リハビリテーション部）
- P-8 通所施設スタッフへの食のケアに関する実態調査—JSDNNM 多施設共同研究  
西依見子（Taste & See）
- P-9 回復期リハビリテーション病棟入院患者のビタミン B1 欠乏と亜鉛欠乏の実態について  
横関恵美（京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部/  
京都府立医科大学医学研究科脳神経内科学教室）
- P-10 JDD2021 に基づく当院独自の形態調整食～調理科学の技法を導入した新たな試み～  
笠原康平（国立精神・神経医療研究センター病院 栄養管理室）

## 症例報告

- P-11 診断早期の筋萎縮性側索硬化症患者に対する発声発語器官のリハビリテーションの効果  
木村一喜（医療法人財団華林会村上華林堂病院リハビリテーション科）
- P-12 多職種で食支援を行った ALS 患者の一症例  
古屋裕康（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック/  
日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科）
- P-13 嘔下造影検査を施行した神経核内封入体病の 2 症例  
寒川 真（近畿大学医学部脳神経内科）
- P-14 筋萎縮性側索硬化症患者における摂食嚥下障害の早期発見と栄養状態の検討  
今西祐子（地方独立行政法人りんくう総合医療センター 診療支援局  
リハビリテーション部門）
- P-15 舌咽迷走神経麻痺を呈したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の一例  
谷口 洋（東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経内科）
- P-16 免疫介在性壊死性ミオパチーの嚥下障害への治療効果  
山本敏之（国立精神神経医療研究センター病院脳神経内科）
- P-17 バルーン拡張法により短期間で経口摂取可能となった難治性皮膚筋炎の一例  
鎌田郁子（川崎市立川崎病院リハビリテーション科）
- P-18 進行性にポケットが拡大した重度褥瘡に対して多職種での介入が奏功した筋強直性ジストロフィーの一例  
能勢彰子（東京都立神経病院 褥瘡対策・栄養サポートチーム/  
東京都立神経病院 栄養科）
- P-19 嘔下障害を呈した抗 SRP 抗体陽性壊死性ミオパチー 3 例の臨床経過  
荻野智雄（国立病院機構宇多野病院 リハビリテーション科）
- P-20 当院における低定量自動持続吸引器を導入したミオパチーについて  
—誤嚥予防対策として経口摂取時に併用している症例について—  
寄本恵輔（国立精神・神経医療研究センター身体リハビリテーション部）
- P-21 低 ADL 者がバランスボール運動を実施し摂食嚥下機能が向上した一例  
石井美紀（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科  
摂食嚥下リハビリテーション学分野）
- P-22 両側声帯麻痺により緊急気管切開を要した PR3-ANCA 陽性肥厚性硬膜炎の 1 例  
武藤浩平（徳島大学病院 脳神経内科）

- P-23 嘔下障害に影響を及ぼす頸椎疾患の合併症例  
古清水元子（諏訪赤十字病院看護部管理室）
- P-24 誤嚥防止手術症例にみる医療連携  
津田豪太（聖隸佐倉市民病院 耳鼻咽喉科/聖隸佐倉市民病院 摂食嚥下センター）